

大学入試で大切なこと

～現役合格に向けて～

日時：平成21年5月27日(水) 聖徳学園講堂

講師：河合塾新宿校舎長 齊藤 淳一 先生

進路指導部 大岡 文夫



5月27日に高校生の保護者の皆様を対象に「進路講演会」を開催いたしました。

近頃の大学入試は大きく変貌を遂げ、入試の実態はなかなかつかみにくいのが現状です。そこで保護者の皆様方に大学入試の現状をご理解いただくと同時にお子様に適切な助言をしていただけたらという思いで開催いたしました。

講師の選定から実施に至るまで時間がかかってしまい、ご案内をさしあげるのが遅くなってしまつたことを先ずはお詫び申し上げます。にもかかわらず、当日は100名を越えるご出席をいただき、会場も急遽多目的ホールから講堂に変更いたしました。

講師には、河合塾新宿校舎長 齊藤淳一先生にお願いをし、講演していただきました。主な内容は、以下の通りです。

① 大学入試の現状とセンター試験

② 大学の選び方(文系・理系の選び方)

③ 大学に行く目的と学部

④ 受験生への接し方

『現在の大学入試は受験生が大学を選ぶ時代だが、情報を収集し吟味する力が要求される。同時に

基礎力を身につけるために、センター試験を一つの物差しとする。センター試験は、約8割は高校2年生までの学習内容。したがって、高校2年生までに80%得点できないといけないことになる。また、その学力を身につける為にはモチベーションを自らあげないといけない。夏のオープンキャンパスには是非参加してもらいたい。

大学を選ぶ上で大切なことは、本人が好きか嫌いか(本人の意志)、適正があるか(向き不向き)、やり続ける能力である。学部・大学を選ぶ際に大切なこと。つまり偏差値や所在地で選ぶのではないということ。』

また講演の最後に、受験生をのぼす親とはどのようなタイプの方かお話くださいました。親には、「おしゃか様型」・「信頼・放任型」などといくつかに類型化できるとのことです。どうやら「おしゃか様型」と呼ばれ

る、入試状況など何でも知っているが、口には出さない。聞き上手になつて、受験生の方から相談に来た時、的を射たアドバイスができる親が良いようです。90分という限られた時間ではありましたが、齊藤先生のご講演に出席された皆様は熱心に聴いていらつしゃいました。今後もうこうした講演会を設定したいと考えております。

また講演の最後に、受験生をのぼす親とはどのようなタイプの方かお話くださいました。親には、「おしゃか様型」・「信頼・放任型」などといくつかに類型化できるとのことです。どうやら「おしゃか様型」と呼ばれ

